

1 自己評価及び外部評価結果

(ユニット名 ぼぷら)

事業所番号	0670400803		
法人名	有限会社 敬愛会		
事業所名	グループホーム こもれびの家		
所在地	米沢市大字花沢3612番地の1		
自己評価作成日	平成 25年 2月 15日	開設年月日	平成 15年 7月 22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

私たちの事業所は、「笑顔が見たい 役に立ちたい」のスローガンの元、『御利用者様お一人おひとりが、その人らしく暮らしていくためには』を、常に考え、支援させていただいております。お一人おひとりの思いや生活歴・習慣や現状を細かに把握することや、御家族様の思いに寄添うこと、居室担当者は、いつでも一番の理解者であり、言葉に出来ない思いを捉える事ができる、頼れる人となれるように努めております。毎日、笑って過ごすことのできる、温かな生活の場であります。

※事業所の基本情報は、公表センターページで検索し、閲覧してください。(↓このURLをクリック)
(公表の調査月の関係で、基本情報が公表されていないこともあります。御了承ください。)

基本情報リンク先 <http://www.kaigo-yamagata.info/yamagata/Top.do>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 エール・フォーユー		
所在地	山形県山形市小白川町二丁目3-31		
訪問調査日	平成 25年 3月 28日	評価結果決定日	平成 25年 4月 12日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

※1ユニット目に記載

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係が できている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

山形県地域密着型サービス「1 自己評価及び外部評価(結果)」

※複数ユニットがある場合、外部評価結果は1ユニット目の評価結果票にのみ記載します

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	いつでも見ることができるように、玄関脇に理念を掲示しております。また、毎日の唱和をかかさずに行うことで、意義や目的を共有しております。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の一員として「挨拶」を行い、顔馴染みの関係になるように努めております。近隣の方より、畑で採れた野菜を戴いたり、散歩時に立ち話をしたりと交流させていただいております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域推進会議の場を活用させていただくなどし、事例や事案などを聞いて頂いております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域推進会議の場を活用し、介護相談員の方などからいただいた意見や評価についての話し合いの時間をもち、そこで活発な意見を頂戴し、活かしております。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域推進会議へ参加していただいた際や、訪問や電話などで相談させていただいております。また、生活相談員の受け入れを行っております。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら、玄関に鍵をかけない工夫や、身体拘束をしないで過ごせるような工夫に取り組んでいる	年間研修計画の中に、身体拘束排除に関する取組みを計画し、毎月行う会議においても、危険行為に対応する為の対応策を拘束排除の理念に基づいて考察しております。また、日中帯は10時より19時まで開錠し、対応しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年間研修計画の中に、高齢者虐待防止法等についての研修を計画し、虐待についての意見交換を行うなどの勉強の機会を設けており、虐待ゼロに積極的に取り組んでおります。今後も安心・安全を心掛けて、虐待ゼロに努めていきます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	年間研修計画の中に、権利擁護に関する研修を計画し、各々が理解できるようにしております。また、利用されている方もおられます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は、重要事項説明書も併せて、必要書類の読み合わせを行い説明させていただいております。また、家族の思いにしっかりと寄り添うことができるように、話し合いの場を持っております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ユニット毎の玄関に用紙とポストを用意し、言いにくいことなどをお聞きできるようにと考えております。また、面会時には、御利用者様の近況を報告させていただくと共に、御家族の意見を聞きだすようはたらきかけをしております。		
11		○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	随時、話しやすい(相談しやすい)環境づくりに努めており、毎月のスタッフ会議の場などで、率直な意見を聞きだすように努力をし、意見交換をしております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎月、個々に目標を持ち、掲示し、自己評価を行い、翌月の目標に繋げることで、自己研鑽し、互いが切磋琢磨し合える環境づくりをおこなっております。		
13	(7)	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	積極的に、研修会や勉強会に参加しております。また個々にあった研修等を選び参加し、報告書の提出と合わせて、報告の場を持ち、職員全員が把握し、学び合うことができるように努めております。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
14	(8)	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市・県主催の同業者ブロック協議会への参加やグループホーム協会などの交流や、「おいたまの郷」との相互訪問等の連携、他研修の場にて交流を図っております。			
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	御本人様・御家族様の要望や不安に思われていることをしっかりと受け止めることができるように、ゆっくりとお話をお聞きしております。また、サービス開始の段階にて不足した部分については、面会時等に、お話をお聞きし、安心できる環境づくりに努めております。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族様の思いが、話しやすくなるように、場所や時間などを柔軟に対応させていただいております。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所の申し込みをいただき、面接等を経た段階で、御利用者様が必要とされている支援内容と、私達のグループホームの支援内容が、合致するのだろうか等を話し合わせていただき、必要であれば、適切であろう機関を紹介させていただくなどの対応をさせていただいております。			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	御利用者様の思いに傾聴することを念頭に、接しております。また、御利用者様の尊厳を大切にすることを、常に声に出して申し送ることで、意識付けを図っております。			
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御利用者様の、一番の理解者であり、拠りどころがありますので、面会の際には、御家族様とゆっくりと話ができるように配慮させていただいたり、面会の少ない御家族様には、お手紙やお電話等で、近況を報告させていただいております。			
20		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御兄弟や、御友人等の面会があった際は、記念写真を撮らせていただいたり、御友人との外出の支援等、馴染みの関係が継続できるように、支援させていただいております。			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様お一人おひとりの個性を、十分に把握し、御利用者様同士が、馴染みの関係を築けるように、配席等にも気を配り、支援させていただいております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	御利用者様や、御家族様が、必要とされた際は、出来る限りの支援をさせていただいております。また、転所先に訪問に行かせていただき、情報交換をさせていただいております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	居室の担当者を配置することで、担当者が、一番の理解者となり、信頼関係を築くように努めております。また、申し送りや、会議の場で、意見交換を行い、各々の気付きを話し合い、その人を知るように、努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回アセスメントにおいて、これまでの生活歴を伺い、センター方式に落とし込み、ケアプランに反映するようにしております。また、サービスを受けておられた方に関しましては、情報をいただいたり、お電話にて、相談させていただいたりして、十分に把握できるように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	センター方式や、ICFシートを活用し、定期的な見直しを行うことで、現状の把握(できること・支援の方法次第で、でき得ることを見極めるなど)に、努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的に、モニタリングを行い、居室担当者が、本人の思いを傾聴し、ケアプランに反映できるように支援させていただき、それを基に、ケアカンファレンスを行い、御家族様の思いや、職員一同の意見等を反映させております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活記録を、誰が読んでも分かりやすい言葉で記録しております。また、記録は、ケアプランに沿ったものになるように意識しており、ケアプランの実施状況に反映できるようになっております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 (小規模多機能型居宅介護事業所のみ記載) 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの方々の訪問や、御近所の方々との、お茶呑みの場ともなるように、少しでも、外からの刺激を受けて、楽しみのある生活を送っていただけるように考え、支援させていただいております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に、協力医より往診をいただいております。また、入居前の、かかりつけ医への通院を希望される御利用者様には、御家族様からの協力をいただいたり、必要に応じて、お手伝いをさせていただいております。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に一度の訪問看護師の来所時には、御利用者様お一人おひとりの様子をお伝えし、相談させていただくなどの連携を図っております。また、往診の際などに、状況を詳しくお話させていただいたり、時には、電話にて相談をさせていただいたりしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、入院治療が必要な可能性が生じた場合は、協力医療機関を含めた病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際は、医療機関との情報交換をし、病院側には、入院される前の状況を、こちらでは入院先での状況の把握ができるように努めております。また、入院先に出向き、看護師さんより、お話をいただいたり、相談員さんとの情報交換をし、退院に向けてのはたらきかけを行っております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、医療関係者等と共にチームで支援に取り組んでいる	御本人様やご家族様の意向を踏まえた上で、ホームでできるケアの内容を説明させていただいております。また、終末期を迎えるにあたり、主治医より、御家族様への話をいただくことで、共に最期を看取ることの意義を共有し、支援させていただいております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署開催の救命救急講習会に定期的に参加したり、AED導入により使用方法を指導していただくなど、技能の習得に努めております。また、避難訓練の際にも、消防署の方より、事故発生時の対応、応急処置法などを教えていただいております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防火管理者の主導の元、年2回の避難訓練を実施しております。また、地域の防災組織にも加入しており、地域との協力体制も整っており、地域推進会議の際には、訓練への、はたらきかけを行っております。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	御利用者様お一人おひとりのプライバシーに配慮した言葉掛けを、徹底しております。また、毎日の唱和のなかで意識付けを図ることで、常に一呼吸おいた関わりや、言葉遣いの注意をしております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御利用者様が、自身の思いを表しやすいような環境づくりに努めております。お一人おひとりとの関わりのなかで、自己決定ができるように、心掛けて支援させていただいております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	御利用者様お一人おひとりの、生活のリズムや思いを尊重し、都度、対応させていただいております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日の気分で、洋服を選んでいただいております。また、行事や外出時等は、居室担当者や前準備を行うなど、楽しみを持っていただいております。また、希望された際は、毛染めの支援にて、家庭で行ってきたことを継続していただけるように支援させていただいております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	御利用者様の嗜好を考慮し、郷土料理や、その日の広告に目を通し、旬の食材や収穫した野菜を使い、買い物や調理をし、共に食し、食後は食器拭きや台拭きなど支援しております。また行事食や外食など、食への楽しみを持っていただけるように支援させていただいております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	担当にあたったユニットが、毎日の献立を作成しております。食事量や水分量、塩分、その他の禁食等を考慮しながら、バランスの摂れた食事の提供を心掛けております。また、嚥下の状態に応じた提供の仕方にも配慮しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食前・毎食後に口腔ケアは、必ずしております。必要な方に対しては、ケアプランに入れることで、職員の意識付けを徹底しております。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	御利用者様お一人おひとりの排泄パターンを、排泄チェック表により、把握しております。必要時には、プライバシーに配慮した言葉掛けにより、トイレ誘導を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床時に、コップ一杯の水の提供や、朝食時にヤクルトやジョア等を摂っていただいたり、毎日の体操などで、定期的な排便を誘導しております。また、必要に応じて、医師との相談をさせていただき、排便コントロールを行っている場合もあります。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、事業所の都合だけで曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	御利用者様お一人おひとりの入浴日を決めずに、その日の体調や気分に応じて、入浴できるように支援させていただいております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	御利用者様お一人おひとりの習慣や体調に応じて、対応しております。また、お昼寝をされる方に、されない方に、個々の生活スタイルを尊重しながら、支援させていただいております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬の効能や、副作用を全職員が理解し、扱えるように徹底しております。また、会議の中で、勉強会を開催しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	御利用者様お一人おひとりの生活歴を把握し、ホームに入居されてからも、可能な限り続けていけるように支援しております。塗り絵をされている方、短歌を詠まれる方、歌を歌われる方、本を読まれる方、書道をされる方と、それぞれに趣味・嗜好を楽しんでいけるよう支援させていただいております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日、職員と共に食材を買いに出かけております。また、居室担当者と共に、衣類や日用品の買い物に出掛けたり、外食やお茶・散歩などに出掛けられるなどされております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入所される際に、御家族様との話し合いの上、御本人様の希望を尊重して、支援しております。金銭管理が可能な方は、御自身で管理をされております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御利用者様の希望に添えるように支援しております。なかなか、御自身で、ということが、困難になられた方に対しても、担当者が、お気持ちを配慮し、お手伝いさせていただいております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じていただけるように、作品の作成段階より、御利用物様と職員とで、一緒に貼り絵を作ったりしております。また、玄関や食堂に季節の花を飾ることで、昔の花つくりの思い出を話される機会等にもなっているようです。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂のソファに腰を掛けたり、廊下の長椅子に腰を掛けたりと、おもしろおもしろに過ごし、お話されるように配慮しております。また、冬期間は、和室のこたつで、横になられる方もおられます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御利用者様が、使われていた物を持ってきていただくように、入居される際に、お願いしております。お茶碗や箸・湯呑み等も、御自身の物を使っただいており、個性が出ております。また、居室にもダンスや御家族様の写真などを飾られておられる方もございます。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	御利用者様お一人おひとりの「できること」「わかること」を十分にアセスメントさせていただき、安全・安心に努めております。		